取扱説明書

つなぎかたガイド②

Aterm WG600HP

AM1-002304-001
2013年5月(E)(U)

親機WG600HPへの無線LAN接続のしかた

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

ここでは、いろいろな子機から親機への無線 LAN 接続方法について説明しています。（子機は、10 台以下でのご使用をお勧めします。）

スマートフォン・タブレット端末をご利用の場合

スマートフォン・タブレット端末では、親機に添付のらくらく QR スタート用 QR コードを読み取って無線 LAN 接続の設定をすることができます。

1. スマートフォン・タブレット端末から、「Atermらくらく QRスタート」のWebサイト（下記）にアクセスする
   http://qr.aterm.jp
2. 表示された画面にしたがって、専用アプリ「Atermらくらく QRスタート」をダウンロードおよびインストールする
3. インストールした専用アプリ「Atermらくらく QRスタート」を起動する
   ※起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。
4. カメラビュー画面で、添付のらくらくQRスタート用QRコードを読み取る
   ※カメラビュー内の読み取り範囲内に QR コードを表示させてください。自動的に QR コードを読み取ります。
5. 無線LAN設定内容が表示されたら、［設定適用］をタップ（またはクリック）する

以上で無線LAN接続の設定は終了です。
（iOS 端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。）

インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にしたがって設定してください。
設定後、インターネットに接続できれば、完了です。

親機では、設定用のQRコードをクイック設定Webから表示することができます。クイック設定Webで無線設定内容を変更した場合も、変更した内容のQRコードを表示できます。

<らくらくQRスタート用QRコード>

添付のらくらくQRスタート用QRコードを
ここに貼り付けて
本書を保管してください。

このQRコードには、本商品の初期値の無線LAN設定情報（ネットワーク名（SSID）、暗号化モード、暗号化キー）が含まれています。

専用アプリ「Aterm らくらく QR スタート」について

専用アプリ「Aterm らくらく QR スタート」は、インターネット接続（3G 通信や LTE 通信など）機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン・タブレット端末で、無料でご利用いただけます。ただしインターネット接続（3G 通信や LTE 通信など）のパケット通信料はお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト（下記 URL）でご確認ください。

http://qr.aterm.jp

なお、2013 年 5 月現在では、下記の端末でのご利用となります。
- Android 端末（対応 OS：Android 4.2/4.1/4.0/3.2/3.1/3.0/2.3/2.2/2.1）
- iOS 端末（対応 OS：iOS 6.1/6.0/5.1/5.0/4.3/4.2/4.1）

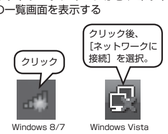
無線 LAN 内蔵パソコン(注)の場合（Mac OS X または OS X の場合は下記「その他の子機の場合」を参照してください。）

（注）自作のパソコンはサポート外となります。
※Windows Vistaはオペレーティングシステムです。

WPS で接続する場合（Windows 8 ／ 7 および Windows Vista®（SP2））

※ 無線 LAN 内蔵パソコン側も WPS に対応している必要があります。
※ Windows 8 の場合は、［スタート］画面で［デスクトップ］を選択してから始めてください。
※ ここでは Windows 8 の画面を主な例として説明しています。

1. パソコンの無線LAN（ワイヤレス）機能を有効にする
   ※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
2. パソコンの通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンから、ネットワークの一覧画面を表示する



3. 親機のネットワーク名（SSID）のうち、プライマリSSIDを選択し、［接続］をクリックする
   ※ネットワーク名(SSID)は、親機の側面に記載されています。「プライマリ SSID」を選択してください。

4. ボタン押下の案内画面が表示されたら、親機のらくらくスタートボタン（WPSプッシュボタン）を長押しし、親機のPOWERランプが緑点滅したら放す
   以降、Windows Vista の場合は［次へ］をクリックし、画面にしたがってください。
   しばらくして接続が完了すると、POWER ランプが約 10 秒間橙点灯します。

Windows 8 で、PC の共有についての選択画面が表示された場合は、「はい、共有をオンにしてデバイスに接続します」をクリックしてください。

失敗した場合は、親機の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅します。
再度❶からやり直しても失敗する場合は、❹で表示される画面から、親機の暗号化キー（ネットワーク セキュリティキー、セキュリティ キーまたはパスフレーズ）を入力する方法で無線 LAN 接続してください。
※暗号化キーは、親機の側面に記載されています。

ワイヤレスネットワーク接続で接続する場合（Windows Vista（SP 未適用 /SP1）および Windows XP（SP3））

※ ここでは Windows Vista の画面を主な例として説明しています。

1. パソコンの無線LAN（ワイヤレス）機能を有効にする
   ※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
2. パソコンの通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコン（ワイヤレスネットワーク接続アイコン）から、ネットワークの一覧画面を表示する

3. 親機のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする
   ※ネットワーク名(SSID)は、親機の側面に記載されています。なお、セキュリティ上、「プライマリ SSID」をお勧めします。

4. 親機の暗号化キー（セキュリティ キーまたはパスフレーズ、ネットワークキー）を入力して、［接続］をクリックする
   ※暗号化キーは、親機の側面に記載されています。

らくらく無線スタートに対応したゲーム機／プリンタなどの場合

らくらく無線スタートに対応したゲーム機／プリンタなどの場合は、ボタン操作（画面タッチ）のみで無線 LAN 接続することができます。ゲーム機などの接続設定内容にあるマークから設定を行います。詳しくは、ゲーム機／プリンタなどの取扱説明書などを参照してください。

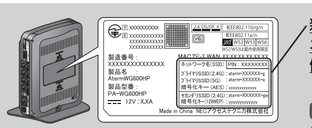
<らくらく無線スタートに対応したゲーム機／プリンタなどの例>（2013年5月現在 ）
- Wii、Wii U
- PSP®「プレイステーション・ポータブル」
- キヤノンプリンタ
- PlayStation® Vita
- 「プレイステーション 3」
- ニンテンドーDSシリーズ（ニンテンドーDS Lite、ニンテンドーDSi、ニンテンドーDSi LL、ニンテンドー3DS、ニンテンドー 3DS LL含む）

※ 設定方法やらくらく無線スタート対応機種の最新情報については、AtermStation －「サポートデスク」をご確認ください。

※図は一例です。

その他の子機の場合

無線 LAN の接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。その際は、下記を参照して、親機のネットワーク名（SSID）を選択し、暗号化キーを入力してください。



親機の工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、側面ラベルに記載されています。

1 ネットワーク名（SSID）

ご利用の子機から、親機のネットワーク名（SSID）を選択します。

- プライマリ SSID：通常はこちらを選択してください。工場出荷時の暗号化モードは AES です。
- セカンダリ SSID：ご使用の子機の暗号化モードが WEP の場合はこちらを選択してください。（ニンテンドー DS など）
  ※ 5GHz の場合は、末尾 2 桁が「aw」となります。（暗号化キーは 2.4GHz と同じです。）

2 暗号化キー（パスワード、セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキー）

選択したネットワーク名（SSID）で使用している暗号化キーを入力します。
工場出荷時の値は、半角英数字（0 ～ 9、a ～ f）を使用した 13 桁です。

※ 暗号化キーで使用されているアルファベットは、工場出荷時の状態ではすべて小文字（abcdef）です。（「B」（ビー）、「G」（ジー）、「I」（アイ）、「l」（エル）、「O」「o」（オー）は使用していません。）
※ 親機の WEP の暗号化（セキュリティ）については、下記を参考にしてください。
- WEP は Open System 認証を使用しています。
- キーは自動的に提供されません。また、初期値のキーインデックスは「1」です。
- IEEE802.1X は使用していません。
- 桁数が 26 桁の場合は、英数字を 16 進数に読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：0123456789abc → 30313233343536373839616263

本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、WWW ブラウザ画面「クイック設定 Web」で設定します。
※ 詳細は「機能詳細ガイド」－「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。
クイック設定 Web の起動方法は次のとおりです。

クイック設定 Web の起動方法

■本商品の ACTIVE ランプが緑点灯／緑点滅／消灯の場合（ルータモードの場合）

WWW ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。

http://aterm.me/

※ 本商品の IP アドレス（初期値：192.168.10.1）を入力しても起動します。

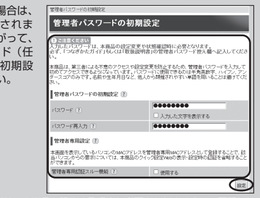
■本商品の ACTIVE ランプが橙点灯／橙点滅の場合（無線 LAN アクセスポイントモードの場合）

WWW ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。

http://X.Y.Z.210/

※「X.Y.Z」は、本商品が接続しているネットワークのアドレス体系です。
（☞ 右記「本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する」でご確認ください。）
※ 本商品の IP アドレスの末尾を「210」以外に設定してある場合は、設定したアドレスを入力してください。
※ アドレス欄に「http://aterm-XXXXXX/」と入力しても起動できる場合があります。（「XXXXXX」は本商品側面ラベルの WAN 側 MAC アドレスの下 6 桁）

● 初めて起動する場合は、右の画面が表示されます。画面にしたがって、管理者パスワード（任意の文字列）の初期設定をしてください。

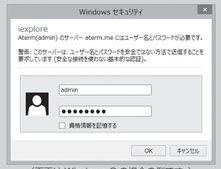


※ 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、下記に控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができません。初期化してすべての設定をやり直してください。

管理者パスワード控え欄

※「管理者専用設定」で「管理者専用認証スルー機能」の「使用する」にチェックすると、この画面を表示している端末の MAC アドレスを管理者専用の MAC アドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定 Web 起動時にユーザ名・管理者パスワード入力を省略することができます。

● ユーザ名とパスワード入力画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。
※「ユーザー名」（上段）には「admin」（半角小文字）、「パスワード」（下段）には上記で控えた管理者パスワードを入力してください。



（画面は Windows 8 の場合の例です。）

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載しました。
※ この他に「機能詳細ガイド」の「お困りのときには」でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらも合わせてご覧ください。
※ 解決しない場合は、本商品を初期化（☞「つなぎかたガイド①」の「初期化方法」）し、始めから設定し直してお試しください。

■ ブロードバンドモデムが設置されていない場合の接続方法は？

マンションタイプのインターネット接続回線の場合、ブロードバンドモデムが設置されていない場合があります。その場合は、本商品の電源を切り、本商品の WAN ポートと、壁などにあるインターネット接続口を ETHERNET ケーブルで接続後、本商品の電源を入れてください。

■ インターネットに接続できない

ADSL/FTTH 接続に関するトラブル
- ●ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる
  →WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっているかどうか確認してください。
- ●PPPoE 接続できない
  →ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトや Windows Vista および Windows 8/7/XP の PPPoE 機能を使用している場合は、それらを停止またはアンインストールしてください。

CATV 接続に関するトラブル
- ●CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない
  →ご使用のモデムによっては、接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの順番で電源をいったん切り、しばらく置いておきます。モデムを置いておく時間については、電源を切って、すぐ電源を入れてもよい場合や、20 ～ 30 分もしくは 24 時間必要な場合など、ケーブルテレビ会社により異なります。モデムを置いておく時間については、ご使用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

■ ACTIVE ランプが橙色に点灯している

正常なランプ表示です。無線 LAN アクセスポイントモード（ルータ機能は停止）になっています。
ルータモード（ルータ機能を使う）に戻す場合は、電源をいったん切って、RT/AP モードの切替スイッチを「RT」側に切り替え、再度、電源を入れてください。

■ クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザは？

クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザについての最新情報は、AtermStation でご確認ください。

■ 本商品のクイック設定 Web が開かない

- ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- ●セカンダリ SSID に無線 LAN 接続している場合は（※）、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能（☞「機能詳細ガイド」）が設定されているため、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、いったん有線で本商品とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度無線 LAN 接続してください。
  （※）AES に対応していない子機から無線 LAN 接続する場合など。
- ●JavaScript が無効に設定されている
  → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。
- ●IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

■ WAN ランプが緑点灯しない

本商品の WAN ポートと本商品の LAN ポートを添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。
背面の WAN ランプが緑点灯する場合
本商品は、問題ありません。
ブロードバンドモデム／回線終端装置の故障が考えられます。
緑点灯しない場合
本商品を初期化してみてください。
それでも解決しない場合は本商品の故障が考えられます。Aterm インフォメーションセンターへお問い合わせください。

■ 無線 LAN アクセスポイントモードで、ACTIVE ランプが橙点滅している

本商品の IP アドレスが他の機器と競合しています。その場合は、下記の対処を行ってください。
①本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認して、控えておく

控え欄

②本商品を RESET スイッチで初期化する
③「らくらく Web ウィザードで設定する」で、下記のように設定する。
- ・［動作モード選択］：無線 LAN アクセスポイント
- ・［IP アドレス自動補正機能］：使用しない
- ・［IP アドレス］：①で確認したアドレス体系を使用し、末尾を「210」以外の値に変更して入力。
  例：①で確認した「IP アドレス」のアドレス体系が「192.168.1.3」の場合
  →「192.168.1.XXX」と入力する（XXX は「210」以外の任意の値）
- ・［ネットマスク（ビット指定）］
  ネットマスクをビット数形式で入力。（1 ～ 30 まで入力可。）
  例：［255.255.255.0］形式のネットマスクは［24］

■ 管理者パスワードを忘れてしまった

本商品を工場出荷状態に初期化してください。（☞「つなぎかたガイド①」の「初期化方法」）この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－［設定値の保存＆復元］で以前の設定値をファイルに保存してあるときは簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（☞「機能詳細ガイド」）
なお、「管理者パスワードの初期設定」時に「管理者専用認証スルー機能」を「使用する」に設定していれば、設定時と同じ端末からクイック設定 Web を起動する場合、ユーザ名・管理者パスワード入力が省略できます。

■ WL300NE-AG のクイック設定 Web が開かない

パソコンと WL300NE-AG の本商品が異なっている可能性があります。パソコンのネットワークの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認し、WL300NE-AG の電源をいったん切って、らくらくスタートボタンを押しながら電源を入れてください。

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系は、下記の手順で確認します。
本商品の動作モードを無線 LAN アクセスポイントモードでご利用になる場合は、ここで確認したアドレス体系を使用してクイック設定 Web を起動します。

Windows Vista および Windows 8/7 の場合

1. ［スタート］画面上で右クリックして［すべてのアプリ］をクリックし、［アプリ］画面にある［コマンドプロンプト］をクリックする
   ※ Windows 7/Windows Vista の場合は、［スタート］（Windows のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。
2. 「ipconfig /all」と入力して、［Enter］キーを押す
3. 表示された IPv4 アドレスを確認する

Windows XP の場合

1. ［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
2. 「ipconfig /all」を入力して［Enter］キーを押す
3. 表示された IP アドレス（IP Address）を確認する

Mac OS X または OS X の場合

1. アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する
2. ［Ethernet］を選択する
   ※本商品に無線 LAN 接続している場合は［Wi-Fi］（または［AirMac］）を選択して［詳細］をクリックし、［TCP/IP］タブをクリックします。
3. 表示された IP アドレス（または IPv4 アドレス）を確認する

iOS の場合

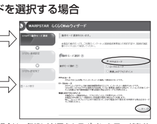
1. 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
2. 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
3. 「ネットワークを選択 ...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名（SSID）の右側にある［>］ボタンをタップする
4. 表示された「IP アドレス」を確認する

らくらくWebウィザードでブロードバンド回線の設定を手動で行う

ここでは、インターネット接続に必要な本商品の動作モードを、手動で設定する方法について説明しています。設定はらくらく Web ウィザードで設定します。
※ らくらく Web ウィザードは、インターネット接続設定が未設定の場合にのみ、表示されます。

1. クイック設定 Web を起動する（☞ 上記）
2. 動作モードを選択し、［次へ］をクリックする
   接続事業者（例（敬称略）ごとに動作モードを選択してください。

● PPPoE ルータモードを選択する場合



（※1）ルータ内蔵モデムに接続の場合は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。
（※2）IP電話をご利用で、ルータ機能が内蔵されているIP電話対応機器に接続の場合は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。

●ローカルルータモードを選択する場合

（※3）IP電話をご利用で、ルータ機能が内蔵されているIP電話対応機器に接続の場合は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。
（※4）無線LANパック適用時は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。

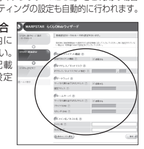
●無線 LAN アクセスポイントモードを選択する場合

3. 表示される画面に合わせて、インターネット接続に必要な情報を入力する

● PPPoE ルータモードの場合
① ［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。

② 接続事業者／プロバイダからの情報にしたがって「ユーザー名」と「パスワード」を入力する。
※ 接続事業者／プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類で確認し、文字列を間違えないように入力してください。
※ フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。
※ メールのユーザ名やドメイン、パスワードは接続できません。
③ サービス情報サイトの接続先登録を行うかどうかを選択する。
※ NTT 東日本の「B フレッツ」「フレッツ・ADSL」をご利用の場合のみ選択します。DNS ルーティングの設定も自動的に行われます。

●ローカルルータモードの場合
ご加入の接続事業者の案内にしたがって入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。



次の画面が表示された場合は、本商品のブロードバンドモデムの接続を確認し、［OK］をクリックします。

DHCP クライアント機能：
WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は［使用する］に☑します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックを外してください。

IP アドレス／ネットマスク：
接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイ：
接続事業者から指定されている場合は［使用する］の☑を外し、［固定アドレス］に入力します。指定されていない場合は特に指定する必要はありません。

ネームサーバ：
サーバから自動で取得する場合は、［使用する］に☑します。接続事業者から指定されている場合は、チェックを外し、そのアドレスを入力します。

ドメイン名／ホスト名：
接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

●無線 LAN アクセスポイントモードの場合

IP アドレス／ネットマスク：
IP アドレスが競合する場合や IP アドレスを手動で設定する場合は、［IP アドレス自動補正機能］の［使用する］の☑を外し、ご使用の環境に合わせて本商品の IP アドレス／ネットマスクを設定します。
（例）ルータタイプの ADSL モデムの IP アドレスが「192.168.1.1」の場合
IP アドレス：192.168.1.210 など
ADSL モデムと同じ値　他の機器で未使用の値
ネットマスク（ビット指定）：24
※フレッツ・光プレミアムに接続する際は、IP アドレスを「192.168.24.210」に設定してください。

※ あとからクイック設定 Web のページを開く場合、http://aterm.me/ からは開けなくなります。
対応で［IP アドレス自動補正機能］の［使用する］の☑を外してIP アドレスを手動設定した場合は、その IP アドレス（例：http://192.168.1.210/）を WWW ブラウザのアドレス欄に入力して開いてください。

ゲートウェイ：
本商品の WAN 側のゲートウェイアドレスを固定で設定する場合は入力します。［IP アドレス自動補正機能］の［使用する］の☑を外してから、［IP アドレス／ネットマスク］の入力内容によって決まるネットワークアドレスの範囲内のアドレスを入力してください。

ネームサーバ：
本商品の WAN 側の DNS サーバを手動で設定する場合は入力します。［IP アドレス自動補正機能］の［使用する］の☑を外してから、入力してください。
複数の DNS サーバがある場合は、［プライマリ DNS］とともに、［セカンダリ DNS］も入力してください。

4. 入力が完了したら、［設定］をクリックする

これでインターネット接続のための基本設定は完了です。

インターネット接続の設定（らくらく Web ウィザード）をもう一度行いたい場合は
らくらく Web ウィザードは、本商品を初めて設定する場合のみ表示されます。もう一度設定する場合は、一度初期化してから設定を行ってください。（☞「つなぎかたガイド①」の「初期化方法」）なお、初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

- ●クイック設定 Web、らくらく Web ウィザードが利用できる WWW ブラウザについては、AtermStation にてご確認ください。
- ●説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- ●クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
- ●PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。
- ●動作モードがわからないときは
  接続しているブロードバンドモデムに PPP ランプがあり、点灯している場合は、無線 LAN アクセスポイントモードを選択してみてください。

●ローカルルータと無線 LAN アクセスポイントの動作モードの違いは、次のとおりです。

	お勧めの環境	制限事項など
ローカルルータモード	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
無線 LAN アクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能（☞「機能詳細ガイド」）は、ご利用いただけません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

- ⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注　意　：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号：発火注意／感電注意／高温注意
■ 行為を禁止する記号：一般禁止／分解禁止／水ぬれ禁止／ぬれ手禁止／火気禁止
■ 行為を指示する記号：一般指示／電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警　告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。
  また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。
- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC100V(50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。

こんなときは

以下の場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンター（☛ 右記「保証書」参照）にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
- 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

⚠ 注　意

設置場所

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品を重ね置きしないでください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。
- 次のような使い方はしないでください。
  ＜悪い例＞
  ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。
- 「つなぎかたガイド①／②」にしたがって接続してください。
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
  ・振動が多い場所
  ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。
- 本商品を移動するときは、接続コードを外してください。
- 動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。

日ごろのお手入れ

- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、ぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関する注意事項

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他の注意事項

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 使用時のセキュリティに関する注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
  メールの内容
  等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、クイック設定 Web で行います。（☛ 表面－「クイック設定 Web の起動方法」）暗号化キーは「無線 LAN 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

メンテナンスバージョンアップ機能　機器情報の扱いについて

メンテナンスバージョンアップは、本商品のソフトウェアに重要な更新（※）があった場合、自動でバージョンアップする機能です。この機能に必要な本商品の機器情報を NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）のサーバに通知いたします。

（1）通知される機器情報
・お客様がご使用になっている本商品の機器情報
・お客様がご使用になっている本商品のネットワーク情報
（2）情報利用の目的について
本機能の実現と本商品や本機能の改善、向上のためにお客様の機器情報を利用いたします。
お客様の機器情報は、本機能およびホーム IP ロケーション機能（☛ 下記）を実現するために利用し、これ以外の目的では利用いたしません。
（3）情報の管理
弊社が利用するお客様の情報につきましては、弊社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。
弊社が第三者と連携して実施する本機能につきましても、弊社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に機能が有効になっておりますので、お客様が本商品の電源を入れることで機能の提供が開始されます。本機能を必要とされない場合は、下記手順で機能を停止してください。

＜停止方法＞
① クイック設定 Web を起動する（☛ 表面－「クイック設定 Web の起動方法」参照）
② 「詳細設定」－「その他の設定」を選択する
※無線 LAN アクセスポイントモードの場合は、「基本設定」－「基本設定」を選択します。
③ ［メンテナンスバージョンアップ機能］で［使用する］のチェックを外す
④ ［設定］－［保存］をクリックする

（※）「重要な更新」とは、弊社が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合を示します。重要な更新がある場合は、弊社ホームページ　AtermStation（URL は、http://121ware.com/aterm/ ）の「重要なお知らせ」にてご案内します。

ホーム IP ロケーション機能のご使用条件

ここでは、弊社が提供するホーム IP ロケーション機能の使用条件を記載しています。
ホーム IP ロケーション機能を使用する場合は、機能を有効にする前に（※）、こちらのご使用条件をご確認ください。機能を有効にされた場合は、ご使用条件にご同意いただけたものとのといたします。
ホーム IP ロケーション機能は、本商品をご使用になるお客様に、より便利にお使いいただけるよう、インターネットからホーム IP ロケーション名で本商品へのアクセスを可能とする機能です。
本機能は、以下の場合に有効になります。

- WAN 側にグローバル IP アドレスが付与されている
- ブリッジモード時は、上位ルータが
  － WAN 側にグローバル IP アドレスを付与されている
  － UPnP 機能が有効になっている
- メンテナンスバージョンアップ機能が［使用する］になっている（初期値：［使用する］）

なお、機能が有効となる条件を満たしても、本商品へのアクセスが可能になるまで 1 時間程度要する場合があります。
また、ホーム IP ロケーション名は、本商品固有の名前になり、変更することはできません。
（※）　ホーム IP ロケーション機能の設定方法や詳細については、AtermStation（URL は、http://121ware.com/aterm/ ）－［サポートページ］で公開されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

1. 使用権
本機能の提供は、本商品をご使用いただいているお客様に対して行います。
また、本商品を転売等された場合は、新たに本商品を所有されるお客様が本機能をご使用いただけます。

2. 禁止行為
本機能は、違法行為または以下の行為をされる場合、ご使用いただけません。
弊社が機能使用に適さないと判断した場合、予告なく機能を停止させていただきます。
（1）公序良俗に反する行為
（2）営利目的に使用する行為
（3）第三者の権利を侵害する行為またはその恐れのある行為
（4）本機能の運営を阻害する行為またはその恐れのある行為
（5）本機能を使用する権利を第三者に移譲する行為
（6）本商品の偽装をする行為

3. 免責事項
弊社は本機能を提供するにあたり、機能の提供維持、安定化に努めますが、弊社の対応は下記のものとなります。
（1）本機能の損害賠償
本機能によるお客様が被る損害については、いかなる場合も弊社は一切の責任を負いません。
（2）本機能の保証範囲
本機能は本商品と弊社サーバにて機能動作を確認し、保証するものとなります。本機能ご使用にあたり、お客様のご使用環境に起因する機能、性能の動作保証や各様のデータや機器に関する保証については、弊社は一切の責任を負いません。
（3）本機能の中断、停止
やむを得ない理由または弊社の都合により、本機能の中断・停止を予告なく行うことがあります。
（4）本条件の変更
本条件の改定を予告なく行うことがあります。

4. 機器情報の扱い
この機能に必要な本商品の機器情報を弊社のサーバに通知いたします。
（1）通知される機器情報
・お客様がご使用になっている本商品の機器情報
・お客様がご使用になっている本商品のネットワーク情報
（2）情報利用の目的について
本機能の実現と本商品や本機能の改善、向上のためにお客様の機器情報を利用いたします。
お客様の機器情報は、本機能およびメンテナンスバージョンアップ機能（☛ 左記）を実現するために利用し、これ以外の目的では利用いたしません。
（3）情報の管理
弊社が利用するお客様の情報につきましては、弊社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。
弊社が第三者と連携して実施する本機能につきましても、弊社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本商品が使用しているソフトウェアについて

本商品で使用しているソフトウェアのライセンス条文は、AtermStation（URL は、http://121ware.com/aterm/ ）の［サポートページ］に公開されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は、IEEE802.11n（5GHz）および IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

・W52　(5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)、
W53　(5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)、
W56　(5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

・W52　(5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)
・W53　(5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)
・W56　(5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

- W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- 本商品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- 2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF　：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4　：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■　：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）　本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）　万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。なお、デュアルチャネル（HT40）を「使用しない」に設定を変更することで改善することもあります。
（3）　その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm インフォメーションセンター（☛ 下記「保証書」参照）にお問い合わせください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

ご注意

（1）　本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
（2）　本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）　本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）　本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）　セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）　せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

■ Aterm、WARPSTAR は、日本電気株式会社の登録商標です。 ■らくらく無線スタート、らくらく QR スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。 ■ Windows、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ■ Windows Vista はオペレーティングシステムです。 ■ Mac OS、OS X、AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。 ■ Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。 ■『PlayStation』、「プレイステーション」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。『PS Vita』は同社の商標です。また、「プレイステーション 3」、「PSP」、「プレイステーション・ポータブル」および「PlayStation®Vita」は同社の商品です。©Sony Computer Entertainment Inc。■ Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。 ■ Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。 ■ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。 ■「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 ■その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2013
NEC アクセステクニカ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。